広報
せきかわ
No.593
2010年（平成22年）
9.1
1975年（昭和50年）4.1創刊

新成人の門出を祝う

8月15日　第56回関川村成人式

＊関連記事は４ページに掲載

2010 国勢調査

平成22年10月1日は 国勢調査です

～ 国勢調査は みんなで描く 日本の自画像 ～

日本が人口減少社会となって 実施する最初の国勢調査です

国勢調査は、統計法に基づき五年ごとに実施するもので、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、地域の活性化などさまざまな分野で役立てられる基礎データになりますので、国勢調査への回答をよろしくお願いします。

●何のために 調査するの？

国勢調査は、日本の人口や世帯の実態を明らかにし、国や都道府県、市区町村の基礎資料として活用します。

また、教育機関や企業など幅広い分野で利用され、私たちの暮らしに役立てられます。

●日本に住む すべての人・世帯 が対象です

国勢調査は、十月一日現在、日本国内に住んでいるすべての人・世帯が対象です。

生まれたばかりの赤ちゃんはもちろん、三か月以上日本に住んでいる外国人も調査の対象となります。

●ご安心ください！ 個人情報は厳重に 保護されます

調査員をはじめ、国勢調査に従事する者には、統計法によって個人情報を保護するための厳格な守秘義務が課せられています。

また、調査票に記入していただいた内容は、統計の作成以外に使用することはありません。

村では四十三人の方に調査員をお願いしています。

皆さんのご協力をお願いします。

調査項目は全部で20項目　意外とカンタンです

【世帯について】

「世帯員の数」「住居の種類」「住宅の建て方」など５項目

【世帯員について】

「男女の別」「出生の年月」「就業状態」「従業地または通学地」など15項目

今回の国勢調査はここが新しくなりました

調査票は、封入して提出する方法とします

これまでの国勢調査では、世帯の希望により封をして調査票を提出することも可能でしたが、今回の国勢調査では、個人情報保護意識を踏まえ、すべての世帯が調査票を封筒に入れて、調査員に提出する方式を導入します。

調査票は郵送で提出することもできます

忙しい方も回答しやすいように、調査票を郵送で提出することもできます。

調査員に提出するか、郵送により提出するかはご自分で選択することができます。

かたり調査にご注意！

調査員は「国勢調査員証」を携帯して調査票の配布と回収を行います。調査票提出前に電話で各世帯の家族構成などを聞くことはありません。

国勢調査と称して世帯構成などの個人情報を電話等で照会する「かたり調査」に注意してください。

このような電話があったときは、役場総務課（☎64－1476）まで連絡ください。

国勢調査員を名乗る不審者に注意してください！
不審な人物には、必ず「国勢調査員証」の提示を求めましょう！

村の人口は何人？
ズバリ当てて商品券をGETしよう！

Q. 今年の国勢調査では、村の常住人口は何人になるでしょうか？

応募資格 どなたでも。ただし一人一点に限ります。

応募方法 はがき見本のとおり必要事項を記入してください。はがき以外の用紙でも可能です。

締め切り 10月1日（当日消印有効。役場へ持参した場合は当日到着分有効）

当選者 県が公表する速報（年明け発表の予定）に一致した方、または最も近い方2名
※当選者が多数の場合は賞品を分割

当選発表 広報紙上で発表する他、本人に通知します。

賞品 商業協同組合の商品券五千円分×2名

はがき見本

（おもて）

50円切手

〒959-3292
関川村役場 総務課
人口当てクイズ 係

（うら）

人口 ○○○人

住所

氏名

■国勢調査に関する問い合わせ先
役場総務課総務班
☎六四―一四七六

《村の人口推移》参考にしてください

国勢調査年	人　口	増　減
1985年（昭60）	8,427人	－
1990年（平２）	8,094人	▲333人
1995年（平７）	7,781人	▲313人
2000年（平12）	7,510人	▲271人
2005年（平17）	7,019人	▲491人
2010年（平22）	？	－

祝・成人

自分たちで作り上げた最高の成人式になりました

八月十五日、第五十六回関川村成人式が村民会館大ホールで行われました。

式典には、七十二人の新成人のうち五十二人が参加し、友人との久しぶりの再会を喜んでいました。

新成人を代表して、小澤享平さん（下関）が「関川村を離れて、関川村や家族・仲間の温かさを知りました。この先にあるたくさんの困難を経験し、立派な大人になっていきたいです。そして、自分たちが村を盛り上げていきたいです」と力強く謝辞を述べました。

アトラクションでは、「なつかしき思い出のあの日」と題され、中学生時代の写真がスクリーンに映し出されたほか、実行委員によるレクリエーションとして、実行委員の皆さんが村内各地を回り、住民の方から頂いたお祝いの言葉を収録したＤＶＤが上映され、会場は大いに盛り上がりました。

▶新成人を代表して謝辞を述べる小澤享平さん

現在、東京で大学生活を送っている加藤沙織さん（内須川）は「みんな中身が変わっていなくて嬉しかったです。成人として、周りに迷惑をかけないようにしていきたい。そして、今より活気ある関川村になってほしいです」と話していました。新成人の皆さん、おめでとうございました。また、実行委員の皆さん、お疲れさまでした。

新成人の内訳

卒業学校名	男性	女性	計
関谷中学校	36人	22人	58人
女川中学校	3人	5人	8人
村上中等教育学校	1人	4人	5人
転　入	0人	1人	1人
合　計	40人	32人	72人

新成人になられた皆さんの今後の活躍を期待しています

9月20日は 敬老の日

おじいちゃん、おばあちゃん いつまでもお元気で

今回は、村の長寿番付として、男女それぞれ上位二十人を紹介させていただきました。

現在、村の総人口は六千七百十二人（七月末現在）。そのうち六十五歳以上の人口は、二千三百十四人で、全体の三四・五%を占めています。

二十日の敬老の日は、おじいちゃん、おばあちゃんに日ごろの感謝を伝え、一緒に長寿を祝いましょう。

村の長寿者番付

＊8月25日現在（敬称略）

男性				女性		
氏名	集落名	年齢		年齢	氏名	集落名
八幡安治	高瀬	99	❶	103	渡邉チエ	小和田
米野佐一	小見	98	❷	101	平田フク	小見
髙橋喜作	大石	98	❸	101	大島サク	上野新
横山刃藏	久保	97	❹	100	小澤タメ	平内新
横山森之介	久保	96	❺	99	伊藤ミドリ	沼
髙橋榮吉	大石	95	❻	98	青塚アイ	松平
渡邉鉄雄	下関	94	❼	98	髙橋サキ	蛇喰
佐藤伴治	下関	94	❽	98	山口キヨ	蛇喰
伊藤正五	下関	93	❾	97	渡邉ヨシ	打上
髙橋重右エ門	蛇喰	93	❿	97	近ミネ	宮前
井上二郎	上土沢	93	⓫	96	大島リイ	上野新
髙橋五郎	下関	92	⓬	96	中束キク	蕨野
小池壽哉	下関	92	⓭	96	佐藤スミ	大島
五十嵐源之烝	上川口	92	⓮	96	佐藤ギン	朴坂
新野芳太郎	金丸	92	⓯	96	和田ミヱ	下関
小山喜久雄	大内渕	91	⓰	96	小池初井	下関
髙橋和夫	上土沢	91	⓱	96	小池ハレ	下関
髙橋巖	金俣	91	⓲	96	新野アイ	下関
富樫宗吉	下土沢	91	⓳	96	船山一枝	勝蔵
須貝薫	蛇喰	90	⓴	96	近ミトリ	上関

＊長寿者本人または家族の方から承諾をいただいた方を掲載しました。

長寿の秘訣は…
くよくよせず前向きに頑張ること

髙橋サキさん
（蛇喰・98才）

毎朝六時半に起きて、ベッド上で十五分間の体操を行うことから髙橋サキさんの一日が始まります。

玄関と家の前の掃除が日課で、家から少し離れたゴミ捨て場へ歌を口ずさみながらゴミを捨てに行くそうです。

以前は、菊づくりが好きで、何度も表彰を受けたことのある菊づくりの名人でした。最近は足腰が悪く、菊づくりなど外での仕事もほとんどできなくなりましたが、現在は新聞チラシを使った「鍋しきづくり」にはまっています。作った鍋しきを公民館や学校に寄付したこともあるそうで、「皆さん喜んでもらってくれるのが何よりも嬉しく、自分の張り合いになる」と話していました。

毎日、元気に過ごす秘訣は？との質問に「どんなことがあってもくよくよせず、前を向いて頑張ること。何事も悪く考えず、良い方向に考えるようにしています」と教えてくれました。

そしてもう一つ、食事は必ず一日三食摂るようにしているそうです。「体調が悪いと思ったことは一度もありません。毎日体調が良いですよ」と、笑顔で話してくれました。

そんな髙橋さんには、孫が十六人、ひ孫が十四人います。毎年お盆になると二十人くらい遊びにくるそうですが、孫たちに逢える時間を楽しみに待っていました。

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.３　上手なお医者さんのかかり方（その１）

お医者さんにかかるとき、ちょっとした誤解や思い込みで治療が長引くことがあります。

また、休日や夜間に軽症の患者さんが救急医療へ受診することによって、緊急性の高い重症の患者さんの治療に支障をきたすことがあります。

必要なときに、必要な方が安心して医療が受けられるように、医療機関の受診や薬局での薬の調剤の際には、以下のことに留意しましょう。

「かかりつけ医」を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、病歴や健康状態などを把握して健康管理全般のアドバイスをしてくれる医師のことです。

風邪などの軽い病気であれば、大きな病院でも身近な開業医でも治療内容はほとんど変わりません。開業医は待ち時間も短く、体への負担が軽減されます。

日頃から、自分や家族の健康管理につとめ、何かしらの異変を感じたら、早期に「かかりつけ医」へ相談・受診することを心がけましょう。

【ご注意ください】

大きな病院では、初診の患者さんは紹介状が必要で、紹介状なしで受診する場合は特別料金が発生する場合もあります。

わからないことは確認しましょう

お医者さんの説明をよく聞いて、受診の疑問や不安を解消した上で治療にのぞみましょう。

また、同様にお医者さんの質問にも隠さず答えることも重要です。

お医者さんの指示は守りましょう

ご自身の判断で処方された薬を飲まなかったり、薬の量を加減したりするのはやめましょう。

薬が余っているときは、お医者さんや薬剤師さんに相談しましょう。

後期高齢者医療制度に関する問い合わせ先　住民福祉課福祉保険班　TEL　６４－１４７２

子どもたちを見守り続けて

伝　南海雄（なみお）さん（大島）高橋かな江さん（下関）に関川小学校から感謝状

毎朝、子どもたちの通学時間に合わせて街頭指導を続けている伝南海雄さんと高橋かな江さんに、関川小学校の児童会運営委員会から感謝状が贈られました。

二人とも街頭指導を始めたのは今年の春から。伝さんは大島駅前、高橋さんは小学校前の横断歩道で、それぞれ子どもたちが交通事故や不審者の被害に遭わないように街頭指導に立ち、見守りを行っています。

二人に贈られた感謝状は児童会運営委員の手作りによるもので、児童みんなの感謝の気持ちが詰まったものになりました。

感謝状を受け取った伝さんは「最近は不審者が多いので児童の皆さんには気を付けてほしい」と注意を促し、高橋さんは「毎朝、みんなと元気良く挨拶出来るのが楽しみです。時間のあるときは、下校時も皆さんの見守りをしたいです」と話していました。

加害者になるな！被害者を出すな！

夏の交通事故防止運動に合わせて、七月二十四日、川口橋のチェーン着脱所に交通安全指導所が設けられました。

指導所には、村上地区交通安全協会関川支部、トキちゃんクラブ、村の交通安全指導員、村上警察署など、約三十人が参加。「飲酒運転や無謀な運転をしないように」と、啓発チラシなど約百三十台のドライバーに手渡しました。村上警察署の今田署長は「高速道路も無料化になり交通量は増えるので、交通事故を減らせるように努力していきたい」と話していました。

これから行楽シーズンを迎えると、高速道路・一般道路ともに交通量が増えると予想されます。ドライバーの皆さん、安全運転を心がけ、交通事故に気をつけましょう。

9月21日(火)～9月30日(木)

秋の全国交通安全運動

～ 夕暮れに 命を照らす 早めのライト ～

夕暮れの早まりと秋の行楽期が重なる時期に交通事故が多発することから、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの尊守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

運動の重点

○高齢者の交通事故防止
○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
○飲酒運転の根絶

9月30日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」

カチっとベルト パーフェクト運動

シートベルト・チャイルドシート着用強調月間

9月1日～9月30日まで

シートベルト及びチャイルドシート着用の必要性を認識し、正しく着用して被害の防止・軽減を図るとともに、安全運転に努めましょう。

おおいしダムまつりで自然を満喫

七月三十一日、「おおいしダム湖畔まつり」が大石ダム湖畔県民休養地で行われ、会場には約二千人の観光客が訪れました。

関川中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けたまつりは、県北産の杉を使った木工教室や火おこし体験、ダム湖でのカヌー体験のほか、ダムの内部探検などが行われました。火おこし体験では、火種がたまり煙が立ち上がると、子どもたちから「わぁ、すごい」と歓声が上がり、またカヌー体験では、親子で一緒にカヌーに乗り、自然を感じながらゆっくりと流れる癒しの時間を楽しんでいました。

普段体験できない貴重な体験をした子どもたちの表情は笑顔で溢れていました。

◀ダムまつりでカヌーを楽しむ親子

▶かじかとりまつりの様子

親子そろってかじかに夢中

八月一日、村観光協会主催の「えちごせきかわ親子かじかとりまつり」が下川口の大石川を会場に行われました。

当日は、県内外から約五百人の親子が参加。新潟市から親子三人で参加した方は「このイベントを新聞の広告で知りました。今までかじかを見たことも食べたこともないので、頑張って一匹は獲って帰りたいです」と意気込みを語っていました。

昼食には、温泉旅館組合の皆さんが作ったカレーライスが振る舞われたほか、魚のつかみ取りでは子どもから大人まで目を輝かせてイワナや鮎などと格闘していました。

親子で楽しくふれあえた時間、子どもたちは楽しい夏休みの思い出となったことでしょう。

短冊に願いを込めて 上関集落で七夕まつり

八月七日、上関集落で恒例の七夕まつりが行われました。当日は、保護者や子どもたち約四十人が参加。

折り紙を使った短冊など色あざやかに飾りつけられた竹の小枝をリヤカーにしばり、夕方六時から約一時間半にわたって元気良く集落内を練り歩きました。

また、下関在住のプロカメラマン廣瀬佳明さんも七夕まつりに参加。「竹を使ってどのようにまつりが行われているのか…」。

プロカメラマンでありながら、竹を使った竹トンボや行燈（あんどん）、竹の笛などのオブジェ作りも行っていて、「竹」つながりから今回の七夕まつりに参加しました。

廣瀬さんから「上関子ども会」と書かれた手作りの行燈が子どもたちにプレゼントされ、いつもとは一味違った七夕となりました。

えっ!? ヤマユリの花がこんなに

近久男さん（若山）の自宅の庭に、数年前から夏になるとヤマユリが咲くようになりました。

今年も例年と同じように二㍍ほどの茎にはヤマユリの花がひとつ、ふたつと…。いつもは十個ほどの花が咲くそうですが、今年は茎が花とつぼみでいっぱいに。近さんが数えてみると、何と花とつぼみを合わせて五十を超えていました。ヤマユリは育てているわけでもなく、何も手を掛けていないそうで、放っておいたらこうなったそうです。

近さんは「最初気が付いた時、あまりにもつぼみが多くてたまげたぁ」と話していました。また、奥さんは「満開になったときは最高にきれいでした。ただ、花の命は本当に短くあっという間ですね。もう少し長く咲いてくれれば」と感慨深げに話していました。

来年はどんな風にヤマユリの花が咲くのでしょう。楽しみです。

猫ちぐらから広がった「輪」

猫ちぐらづくりに参加してたくさんの友だちができました―。

こう語るのは、現在、久保集落に住んでいる松浦光枝さん。新潟市に住んでいた松浦さんは、旦那さんの定年退職を機に旦那さんの実家である久保に転居しました。

新しい生活が始まった頃は、話す相手が誰もいなくて、毎日家の中で過ごしてばかり。そんな日が約二年間続きました。唯一の楽しみは、ウォーキング。毎日、旦那さんと二人で5㌔～6㌔を歩きました。久保から鮎谷を通り、下川口橋を渡って久保の自宅まで。時間にしておよそ一時間二十分。そんな中、松浦さんの生活を変える出会いが…。

昨年の三月、広報紙で「猫ちぐら講習会」があることを知り、友だちづくりを目的として参加しました。会場は賑やかで、祭など騒ぐことが大好きな松浦さんにとって、村に来てから初めての体験でした。元々、手作業が好きなこともあり、猫ちぐらづくりにも夢中になりました。

当時を振り返り松浦さんは「それまでは、村内どこを歩いても声をかけてもらえることがなかったのに、猫ちぐらに出会ってからは、スーパーに行っても市へ行っても声をかけてもらえるようになりました。それがすごく嬉しい」と話していました。

今では、週に五日間ちぐらへ通っていて、合間をみては、趣味であるパッチワークを習いに新潟市まで出掛けます。自分の時間を大切にしている松浦さんは「一日三十時間あれば良いのに。猫ちぐらを作る時間とパッチワークをする時間が欲しい」と笑顔で話していました。

今、一番の楽しみはちぐらで知り合った友だちと一緒に食事に行くことと、旦那さんとの晩酌です。そんな松浦さんは最後にこう話しました。

「関川村は自分にとって、とても過ごしやすい場所です。村の人は温かい人が本当に多い。いい意味でお世話好きの人が多いと感じます」

猫ちぐら―猫だけのためにあるのではなく、人と人とをつなげる役割もあるんですね。

自分の身は自分で 集落は集落のみんなで守る

～松平集落で防災訓練～

八月一日、松平集落（青塚貞夫区長）で大規模地震を想定した防災訓練が行われました。川北地区で防災訓練が行われたのはこれが初めてで、小さな子どもから高齢者まで集落の住民約六十人が参加しました。

松平集落は、昨年の八月に自主防災組織の認定を受けました。「自主防災組織を立ち上げただけでは何の意味もない」との青塚区長の強い想いから、防災訓練の実施に向けて、農家組合長など集落の役員四人が中心となり準備を進めてきました。

当初は、防災訓練を実施するにあたり、消極的な意見もありましたが、「自分の身は自分で、集落は集落のみんなで守る」という気持ちを集落の住民に呼びかけ、防災訓練が実現しました。

防災訓練では、避難誘導訓練や負傷者搬送訓練、火災消火訓練を行いました。

訓練は四十分程度で終了し、その後、地元の現役看護師二人から熱中症対策と三角巾の使用について指導を受けました。訓練に参加した住民からは、「自分たちにも、こんなにてきぱきとした訓練ができるとは…」といった感想が聞かれました。

青塚区長は「みんなの力を合わせれば何でもできるということを実現でき、集落のみんなが分かってくれたと思います。防災訓練を実施して、自信がつきました。今後は、どういった形であれ、継続していくことに意味があり、それが大切なことだと思います」と話していました。

子どもたちに楽しい思い出を

タランペクラブ 女川で夏の陣

八月二十一日、タランペクラブ「夏の陣H22」が女川と藤沢川の合流付近で行われました。

今年は「村の清流とふれあい、そのすばらしさを体いっぱい感じよう」がテーマで、川の楽しさや豊かさ、怖さを知ることが目的。

当日は親子など約四十人が参加し、魚とりやたき火、女川の水を使ったジャガイモ煮などさまざまなことを体験しました。

魚とり・生き物調査では、投網などを使って、川ガニやかじか、鮎、うぐいなどが獲れ、子どもたちは大喜び。マリンピア日本海の職員の方から、獲れた魚について説明があり、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

川遊びのあとは、河原にかまどを作って火をおこし、鮎を焼いて食べたり、川の水を使ってのジャガイモ煮や、空きカンを使ったご飯炊きにも挑戦、普段体験できないことを体験し、子どもたちは貴重な時間を楽しんでいました。

タランペクラブ代表の加藤克徳さん(鮎谷)は「村のきれいな川、山で子どもたちをおもいっきり遊ばせてあげたい。昔の遊びを、もう一度大人も体験したいし、一緒に子どもたちにも遊んでほしい。子どもたちが大人になったときに、村の思い出を残してあげたいです」と話していました。

アナログ放送終了まで1年をきりました！

アナログ放送は、平成二十三年七月二十四日にすべての放送が終了します。それまでの間に、地上デジタル放送を視聴するための準備をしないとテレビを見ることができなくなります。地上デジタル放送を見るには、新たにデジタルテレビを購入するか、アナログテレビに専用チューナーを取り付ける方法があります。

経済的な理由等で地上デジタル放送に対応できない世帯（障がい者がいる世帯で、世帯全員が村民税非課税の場合など）には、簡易チューナーの無償給付などの支援を行っていますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

一方、BSアナログ放送も平成二十三年七月二十四日までに終了しますので、BSデジタル放送へ移行をお願いします。

○エコポイントについて

現在、エコポイントによるデジタルテレビの購入支援を行っていますが、購入期限は平成二十二年十二月末となっています。このエコポイントはアンテナ工事にもご利用できます。

問い合わせ先
総務省　地デジチューナー支援実施センター
☎〇五七〇―〇三三八四〇
又は、総務課企画財政班
☎六四―一四七六

林業退職金共済制度からのお知らせ

林業の仕事をしていたことがありませんか？

林退共では、昭和55年以降、林業事務所で働いていた方で林退共制度に加入していたにもかかわらず、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

また、林業事務所で働いていて、林退共へ加入していたか分からない方も調べますので問い合わせください。

問い合わせ先
林業退職金共済事業本部
☎03－5400－4334

林退共制度について詳しくはホームページでも案内しています。
http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp

郵便物を使った振り込み詐欺にご注意ください！

「レターパック」や「エクスパック500」の利用を指定した振り込め詐欺の被害が発生しています。

具体的には

レターパック及びエクスパック500を利用して現金を送ることはできませんが、これによって現金を送るように指示され、振り込め詐欺の手段として使われています。

このような被害に遭わないよう十分にご注意ください。

火災以外でも消防車がサイレンを鳴らし出動することがあります

◆次のことで消防車が出動することがあります

・救急車の出動中に、呼吸停止や心臓停止により救急要請があった場合など、救急車が到着するまで救命活動を行います

・交通事故などにより、車内に閉じ込められた場合、救出活動を行います

・そのほかに、消防隊が必要と判断された場合、火災以外でも出動します

「救急車を呼んだのに消防車まで来た！」と驚くかもしれませんが、救急隊と消防隊が連携して活動していますのでご安心ください。

問い合わせ先
村上市消防本部
☎五三―〇一一九

自分の想いを言葉にのせて

2010 関川中「わたしの主張」大会

中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が七月二十二日、関川中学校体育館で開かれました。

各学年から選ばれた代表六人が、六分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。

審査の結果、村上・岩船地区大会（県村上健康福祉事務所主催）出場者に伊藤佳奈子さん（三年・南中）を選出。伊藤さんは、八月二十一日に行われた同大会で発表し、優秀賞を受賞しました。

＊発表の概要は次のとおり。発表順。

ことばに思いを込めて

平田希実さん（2年・下関）

「ありがとう」は小さい頃から使ってきたことばです。しかしある出会いで私の考え方が変わりました。中一の夏、家族連れの観光客に道を尋ねられました。その方から笑顔で「ありがとう」と言われ、私はとてもうれしい気持ちになりました。相手の本当の気持ちがことばに込められていたからです。これを活かせば私たちも人間関係がうまくいくのではないでしょうか。学校生活での友達とのけんかも、素直な思いをことばにして伝えることで仲直りできました。現代はメールや電話で簡単に済ませることが多いですが、口に出して目を見て伝えることが大切です。ことばの使い方や選び方に気を付けていきたいです。

仲間の大切さ

平田将太さん（2年・小見）

試合でミスをして落ち込むと、必ず励ましの声を掛けてくれる「仲間」がいます。仲間は心から信頼できる人、どんなときでも助け合える人です。野球で自分のミスで負けてしまったときでも仲間は助けてくれるので、いつも「みんなありがとう」と感謝しています。

仲間と助け合い、協力することで共感でき、こうして目標達成したときの感動は、すばらしいものです。みなさんも仲間を見つけ、自分も仲間という存在になってください。

日常生活でも周りに気を配ったり、困っている人がいたら手を貸したりすることが大切です。私自身が周りの人の大切な仲間になれるようにしたいです。

祖母が教えてくれたこと

佐藤優太さん（1年・大島）

「埼玉の祖母がなくなった」と聞いて何がなんだか分からなくなりました。祖母は優しく、ほしいものは買ってくれる、孫には甘い人でした。

祖母に会って涙が出ましたが、泣いていても祖母が喜ばないと思いました。葬式の列席者を見ていて、祖母がたくさんの人と元気に仕事をしていたことが想像できました。家族との別れは二度目でしたが、どちらも別れるのは悲しくていやでした。叔父が、火葬した骨を手でつかんでいました。大切な人を、汚ないようにはしで持つのがいやだったのでしょう。

祖母の死から家族の絆が分かりました。これからは家族を大切にしていこうと思います。おばあちゃん、ありがとう。

「ありがとう」という気持ち

平田里奈さん
（1年・松平）

バレーボール部に入部。厳しい練習に進んで取り組む先輩をすごいと感じました。また先輩に教えてもらいながら練習の準備をするうちに部活動の大変さがわかってきました。

バレー部は郡市大会で優勝し、下越大会では県大会を目指して最後まで精一杯戦いました。大会後の先輩に感謝の気持ちを伝えると、笑顔でことばを返してくれました。

わたしは部活動を通して「ありがとう」の気持ちの大切さを学びました。「人は一人では何もできない」ということを実際に体験できました。これから、常に感謝の気持ちを心にもって生活していきたいです。

幸せを感じて

伊藤佳奈子さん
（3年・南中）

私は修学旅行で、東京のユニセフハウスを訪問しました。スタッフの方の説明を聞くうちに支援をする側の苦労やつらさがわかり、とても驚きました。五歳の誕生日を迎えられない子どもや学校へ通えない子どもの話も聞きました。私たちが普通だと思っていることは実はとても幸せだということ、恵まれた環境の私たちが一日一日を大切に生きていかなければならないことを強く感じました。

自分の得た知識や技術を人のために役立てれば、周りへの余裕や優しさが出てくるはずです。その繰り返しが人と人の幸せな未来をつくるのではないでしょうか。一日一日を大切に生きることで、人の役に立てる幸せを感じていきたいです。

「自由道」

加藤　聡さん
（3年・鮎谷）

ぼくの黒帯には「自由道」という刺繍が入っています。始めはシャレのようだと言われましたが、あるときその本当の意味を知ることになりました。

それはぼくがスランプに陥り自分のなすべきことを見失ったとき、先生の一言がきっかけでした。「負けたっていいじゃないか。自分の決めたこと、自分のできることをやれ。それがお前の柔道だ」その時ハッと気づいたのです。「そうだ、ぼくには体落としがある。自分の決めたこと、自分のやれることをやればいいのだ」自分を見つめ、何ができるか、何をなすべきかを考えること。自分の心で決めたなら、迷わずその道を進めばいい。それこそが自由道の意味なんだと考えています。

関川中健児の活躍

＊敬称略

下越吹奏楽コンクール

■期日　7月24日
■会場　りゅーとぴあ
■成績
▽金賞　関川中学校吹奏楽部

県中学校総合体育大会

柔　道

■期日　7月26～27日
■会場　長岡市市民体育館
■成績
―男子団体戦―
▽第3位　関川中学校
―女子団体戦―
▽惜敗
―男子個人戦―
▽60kg級　第5位
加藤　聡（3年・鮎谷）
▽73kg級　第3位
高橋　慎（3年・大石）
※北信越大会出場
▽90kg超級　第2位
小池　一毅（2年・下関）
※北信越大会出場
―女子個人戦―
▽52kg級　第5位
須貝梨菜子（3年・高田）
▽57kg級　第7位
長谷川夏帆（2年・下関）
▽70kg級　第4位
佐藤　彩花（3年・下関）

北信越中学校総合競技大会

■期日　8月4日
■会場　福井県立武道館
■成績
―男子個人戦―
▽73kg級　第3位
高橋　慎（3年・大石）
▽90kg超級　第3位
小池　一毅（2年・下関）

炎天下での活動で大きな汗を流しながら、子どもたちは自分たちが住む関川村のことを真剣に学習しました。

これは、八月十九日に教育課と関川小学校が合同で、六年生児童を対象に行った郷土学習会での一コマです。

私たちの郷土を学ぶ 真剣なまなざし

郷土学習会

～観光ボランティアガイドを目指して～

この行事は、六年生の二学期の総合学習として「観光ボランティアガイド」に取り組むにあたっての勉強も兼ねています。一般の観光客を相手にした案内人を目指していて、真剣な表情で取り組んでいました。

四班に分かれた子どもたちは「数字や人の名前が出てきたら必ずメモするように」と先生からのアドバイスを受け、渡邉邸や歴史とみちの館、東桂苑などで各施設の職員の説明に耳を傾け「五年で八億円の大改修」「関鉄之介」「イザベラバード」などメモをとっていました。

役場前の水車小屋で「米沢街道」について語った講師の横山征平さんは「子どもたちに村の歴史や魅力を伝えることは大事。ガイドのことに限らず、たくさん村のことを知ってもらって、少しでも郷土に愛着を持ってもらえれば」と話していました。

子どもたちは、米坂線や郷土の伝説「大里峠」の紙芝居なども勉強し、この秋の「堀と柳の秋祭り」でガイドデビューを目指します。

生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
TEL 64－2134

図書室の窓から

村民会館図書室

暑かった夏も、日に日に秋らしい風を感じられるようになりました。秋の夜長、虫の声に耳を澄ませながら本に目を落とす。そんな過ごし方もよいかもしれませんね。

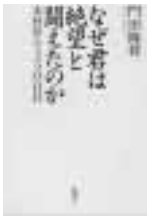
この本よんで!!

「ふしぎなキャンディーやさん」
みやにし　たつや　文絵　Eミ

ブタくんが森の中で見つけたふしぎなキャンディーやさん。「そこにあるキャンディーをなめるとふしぎなことがおこるんだよ」と、お店のタヌキのおじさんに勧められてなめると…。

今月の１冊

「なぜ君は絶望と闘えたのか」
門田　隆将　著　326カ



1999年山口県光市でおきた母子殺害事件。その事件の被害者の夫であり父である本村洋さんの９年間の壮絶な闘いと、彼を支え続けた人たちの物語。

今月の図書館バス

にじ色と、“汽車”のメロディーが目印です。
女川～川北～沢　方面 …　4(土)19(日)
大島～大石～片貝方面 …11(土)26(日)

18日(土)は おはなしのかい

みんなできてね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使っての演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎！無料です！

参加してくれたこどもたちにはかわいいシールをプレゼント！

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は13時～17時30分まで、土・日は９時～17時まで開館しています。

あなたに直撃 ⑧⑨

高橋伸裕さん（上土沢）

８月15日に行われた「第56回関川村成人式」に出席していた高橋伸裕さんに話を聞きました。

―成人式を迎えた今の気持ちは？
この20年間というのは、あっという間だった気がします。ついこの間、小学校に入学したと思っていたら、いつの間にか大学生になっていました。今までを振り返ってみると辛かったこともあったし、逃げ出そうと思うことも何度もありました。しかし、それ以上に良い人生だったなぁと思います。私をここまで支えてくれた仲間・家族・そして両親に改めて感謝したいと思います。

―久しぶりに同級生と会っていかがですか？
どちらかというと、懐かしさというより安心感といった感じですね。仕事をしていたり、学校に通っていたり、みんなそれぞれの道に進んでいますが、この仲間たちだけは大切にしていきたいなと改めて感じました。いつかみんなで集まって、中学時代の思い出を酒の肴にしたいと思います。

―将来の夢を聞かせてください？
上京してもう２年半が経ちました。学校生活・サークル活動・アルバイトなど様々な経験を通して、今まで私が知らなかった世界をたくさん知ることができました。しかし東京に出てすべてを知れたわけではありません。まだまだ日本でも知らないところはたくさんあるのに、まして世界はまさに未知です。小さい知識だけを振りまくのではなく、経験を生かし考えが豊かな人間になりたいです。

―これから関川村に望むことは？
決して大きいとはいえない村ですが、その関川村という名を私の現在住んでいる東京まで轟かせてほしいですね。そして私自身その村の出身者だと誇れるような村になってもらいたいです。生まれ育った村なので、世界各地にあるどんな場所よりも居心地が良い私の居場所として、いつまでも自然豊かで美しい関川村であってほしいと思います。

第１回えちごせきかわ温泉ＣＵＰ 交流野球大会が開催されました

八月七日・八日の二日間、村スポーツ公園を会場に、第一回えちごせきかわ温泉ＣＵＰ交流野球大会が開催されました。

これは、一泊二日という大会日程の中で、村内の旅館に宿泊してもらい、野球を通じてお互いの親睦を図ることを目的としています。

今年は、村スポーツ少年団の他に県内外から五チームが参加。熱い戦いが繰り広げられました。（結果は、以下のとおり）

大会結果 ＊敬称略

第１回えちごせきかわ温泉ＣＵＰ交流野球大会

■期日　８月７～８日
■会場　村スポーツ公園
■結果
▽優　勝　関川村スポーツ少年団
▽準優勝　弥彦ザ・ジェイ
▽第三位　鼠ヶ関マリナーズ

第７回新潟県ジュニア陸上競技大会

■期日　８月１日
■会場　上越市営陸上競技場
■成績
―小学４年女子100㍍―
▽第４位　伊藤佐和子（南中）
記録　15秒93
―小学５年男子1500㍍―
▽第６位　近　元徳（宮前）
記録　５分45秒63
―男子走り幅跳び―
▽第６位　高橋　寛道（６年・上土沢）
記録　４ｍ14㎝
▽第８位　渡邉　健斗（６年・上関）
記録　３ｍ89㎝
―女子ソフトボール投げ―
▽第２位　小池　陽菜（６年・下関）
記録　37ｍ97㎝

第24回高齢者交通安全ゲートボール大会

■期日　７月27日
■会場　ふれあいど～む
■結果
▽優　勝　湯の郷（さと）チーム
▽準優勝　下関チーム
▽第３位　高田チーム
▽敢闘賞　上野新チーム

全日本小学生ゴルフトーナメント東北予選大会

■期日　８月20日
■会場　仙台ヒルズゴルフ倶楽部
■成績
―高学年女子の部―
▽第１位　瀬賀　百花（６年・下関）
※全国大会（福島県）へ出場

健康せきかわ21
いきいきライフ

こころの健康、気にとめていますか
～9月10日は世界自殺予防デー～

自分自身や身近な人（家族、親戚）の人生において、さまざまな出来事（ライフイベント）に出くわします。皆さんは、ストレスについてどのように対処していますか。

結婚や妊娠、出産、子どもの自立、新しい家族が増える、人事異動、病気やけが、疲労、転職や配置換え、正月や盆の行事など…日々の生活でライフイベントが重なると、ストレスも重なってきます。ストレスには良いもの、悪いものがありますが、「適度なストレス」にとどめたいですね。

そこで普段から、自分自身や身近な人の心の健康に目を向けてみましょう。

体の変調

頭重感、めまい、目の疲れ、肩こり、腹部の張りや下痢・便秘、月経不順、腰痛や背中の痛み、体重減少、だるい（個人差があります）

食の変化

食欲不振、飲酒やたばこ・間食が増える

睡眠の変化

眠れない、前日の疲れが取れない

気持ちの変化

・日頃楽しみなことがない
・気分が沈みがちで、憂うつ
・イライラする
・やる気がなく、疲れやすい
・人に会うのがおっくうで、何でも面倒くさい

ストレス対処法

・生活リズムを整えましょう（食事、就寝、起床の時間を確保する）
・質のよい睡眠をとろう（安眠できる環境づくり）
・気軽なリラクゼーションを日課にしよう（半身浴や足湯、マッサージや体操、テレビや趣味など）

ストレスで悩んでいる人へ

そのつらい気持ちを聴いてもらいましょう。あなたの身近には、あなたを気にかけている家族や友人、地域の民生委員や健康づくり推進員、保健師などがいます。また県や団体などの電話・来所相談の場もあります。気持ちは整理されてなくても構いません。気持ちをそのまま言葉にして、楽にしましょう。

自殺の要因について、さまざまな研究が行われています。その中で、誰にも相談せず一人で悩んでいる、また、ストレスが引き起こす疾患（うつ病、不安障害、アルコール依存症など）によって自殺以外の選択肢が見えづらくなっているという報告があります。

◇もし気になる人がいたら…

できる限り話を聴いてあげましょう。「死んでしまいたいと考えるくらい、つらい気持ちなんだね」と相手のつらい気持ちを受け入れることが大切です。肯定も否定もせず、相手を大切に思う気持ちを伝えましょう。

サポート機関を紹介します

○新潟いのちの電話
（24時間、年中無休）
村上市近郊…53−4343
フリーダイヤル…0120−738−556
＊毎月10日、8時00分～翌日8時00分の24時間は無料。

○精神保健福祉相談
（県精神保健福祉センター）
相談専用電話…025−280−0113
＊受付時間８時30分～17時00分
月曜日～金曜日（祝祭日は除く）
来所相談は要予約
（精神科医師の相談日あり）

○村の保健師
住民福祉課健康介護班
…64−1472
＊訪問や電話相談、相談機関の紹介等。

母子保健推進員をご存知ですか？

皆さんがお住まいの地区の「母子保健推進員」はどなたかご存知ですか？

自らの育児経験や研修で得た知識をもつ皆さんで、昭和四十六年から妊婦さんや乳幼児を中心に各地区で関わっていただいています。現在村では十五人の母子保健推進員がいます。

母子保健推進員を紹介します

氏　名	住所	担当地区
瀬賀　共子	下　関	下関（下町・駅前通り）
高橋かな江	下　関	下関（上町・中町・横町）
近　　京子	上　関	上関全域
渡辺紀代美	勝　蔵	辰田新・打上・勝蔵・南赤谷・内須川
駒沢　節子	鍬江沢	山本・幾地・鍬江沢・上土沢
近　英理子	大　島	大島・　下土沢
高橋かず子	大　石	鮎谷・安角・大石・金俣
須貝　麗子	荒川台	蔵田島・久保・下川口・荒川台・大内渕・上川口
八幡由紀子	片　貝	沼・片貝・聞出
阿部三枝子	金　丸	金丸・八ツ口
河内　雪美	沢	湯沢・沢・高瀬
平田　節子	滝　原	松ケ丘・松平・滝原・小見・上野山・小見前新田
須貝まり子	高　田	高田・桂・平内新
照井　祐子	深　沢	上野原・深沢・上野新・若山・上野・小和田
本部久美子	南　中	中束・蛇喰・蕨野・上新保・南中・宮前・朴坂

母子保健推進委員の主な仕事

◎乳幼児健診の受診勧奨を兼ねた案内配布
◎妊婦さん・赤ちゃんの訪問
◎幼児健診における健診の介助
◎食生活アンケートの集計
など

育児で孤立するお母さん・お父さんも見かけられる今日、母子保健推進員が行政とのパイプ役になったり、また身近なところで気軽に相談にのったりアドバイスをしてくれたりしています。

随想リレー 78

先生から先生に

片平敏範 先生

（関川小学校　２年担任）

『心月輪』この言葉に出会ったのは、三年前。前任校は郷土の偉人「良寛さん」にゆかりのある学校で、校庭には良寛歌碑が建てられ、玄関の扉を開けると子どもたちと毬つきを楽しむ大きな壁画が迎えてくれます。学区には角田・弥彦に続く国上山、その麓に晩年を過ごしたといわれる五合庵があります。

恥ずかしながら、赴任当初、良寛さんに関して知っていることといえば、良寛牛乳だけ。四年生の担任になり、総合学習で子どもたちと一緒に、その生き方を学びました。

子どもが大好きで心の優しい人柄であったことは、数々の逸話から知り得ることができます。鍋蓋に筆で記した書跡『心月輪（月のように清らかで円満に心穏やかになる）』もそのひとつで、県の重要文化財に指定されているものであります。

質素な生活をし、簡単な言葉で民衆に説法を行っていた良寛さん。「人が人の心を動かすことが出来るのは優しさであり、憎しみや乱暴な言葉では決して人の心を変えることはできない」という教えに、深く感銘を受けたことを覚えています。

人が人を教える立場にある今、自然を大切にし、人の心を大事にした良寛さんの心を、関川の子どもたちにも息づかせていけたらと思っています。

10月１日号は、関川中学校の相馬和憲先生にバトンタッチ！

このコーナーに登場していただける方を募集しています。自薦他薦は問いません。

じっくり心をこめて

スローフード 78

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

イカと紫玉ねぎのマリネ

暑さ対策にぴったりのさっぱりとしたマリネはいかがでしょうか。

野菜も一緒に摂れるのでおすすめです。野菜は玉ねぎの他に、トマト・きゅうり・人参などでも合います。

材料（４人分）

・イカ　２ハイ　・紫玉ねぎ　１個　・七味唐辛子　少々

【A】

・酢　100cc　・砂糖　大さじ２　・タカノツメ　少々

・塩コショウ　少々

作り方

① イカは足と内臓を取り除き、熱湯に２～３分裏表を返しながら、さっとゆでる。

② ①を冷水に浸して皮をむき、水気をふき５㎜位の輪切りにする。

③【A】を煮立てて冷ます。

④ ②のイカを【A】に漬ける。

⑤ 玉ねぎをスライスして、水にはなす。

⑥ 水気を切った玉ねぎを④と混ぜる。

せきかわ文芸

短歌

夏祭り淑やに踊る（佐渡おけさ）
踊れぬ吾の心がをどる
須貝　恵美（高田）

田の神の恵みを受けて穂揃いの
稲田は今朝の露に輝く
佐藤　庄七（愛広苑）

夏空へ蔓からませて伸びてゆく
キュウリの生命（いのち）見上げるばかり
小池　啓子（下関）

蟬しぐれ未だ聞かぬなりさ庭辺の
草木にあまた空蟬みるに
渡辺千恵子（上関）

数年の提案空し文芸欄後継為（な）らず
目立つ減少
松田　栄一（下関）

出征の亡父の墓石は苔も生え歳月たちし
盆の掃除に
山口　藤枝（辰田新）

近・現代 関川郷の人びと

執筆者：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

新野格夫
（村上市坂町在住）

地域の教育振興に尽くした新野格夫さんは昭和七年八月二十日関川村南赤谷に新野三助の二男として生まれた。新潟県立村上高等学校を経て昭和二十八年三月新潟大学教育学部小学校教員科を修了。昭和二十八年四月女川村立川北小学校教諭に採用され二年間意欲的に指導と研修に取り組んだ。昭和三十年四月関川村立土沢小学校に転勤。十一年間にわたって児童の指導に情熱を傾け教師としての力量を磨いた。その後村上市立岩船小学校、東蒲原郡三川村立綱木小学校勤務を経て昭和五十二年四月から五年間、再び関川村立土沢小学校に勤務。同校は新潟県小学校教育研究会指定の「特別活動」の研究に取り組みの最中であった。新野格夫さんは教務主任として率先して研究に参画・推進し、「生き生きと取り組む子供を育てる学級活動」の主題のもとに、その成果を県の内外に発表した。昭和五十七年四月村上市立大栗田小学校教頭に補され三年間勤務の後、昭和六十年四月村上市立瀬波小学校に転勤。四年間教頭の職務に精励した。

平成元年四月関川村立土沢小学校長に補せられた。同校勤務は三度目で地域の事情に精通していたこともあって意欲的な学校運営を展開。特に健康教育、環境教育に力を注ぎ多くの実績を上げた。そして平成三年四月から二年間荒川町立金屋小学校長を務め、平成五年三月三十一日定年退職した。

平成八年七月荒川町教育委員会教育長に任命された。いじめ・不登校問題に真剣に取り組むと共に、「グリーンパークあらかわ総合運動公園」の建設や荒川町立保内小学校の改築に力を尽くした。七年五ヶ月にわたって地域教育の充実発展に尽力した功績は大きい。

新野格夫さんはスポーツマンで特に野球を愛好し、昭和二十八年より「関谷クラブ（関川クラブ）」のキャプテンを務め、昭和四十年まで選手として活躍。

また岩船郡野球連盟理事長をはじめ各種の野球連盟役員を歴任すると共に新潟県高等学校野球連盟審判員を務め、野球の振興に尽くした。

また平成七年九月一日東京深川区の明治、明治第二両国民学校と地元関係学校の学童疎開五十周年記念交歓・交流会が開催された。翌年三月再会を記念する文集「万感の思いを胸に」が新野格夫編集委員長のもとで刊行された。疎開時の記憶を永遠に残した功績は大きい。

新野格夫さんは教育振興に多大な貢献をし、現在も村上市坂町区の役員として活躍している。

○新野家の系図

初代 左馬助……二十二代 三助 ┬ 容介
　　└ 格夫 ― 禎

せきかわ文芸

関川俳句の会作品

久々の多き雨得し夏木立　渡辺しづい

病床で梅雨の激しさ驚きぬ　佐藤　ノブ

分け迷う初鮎一尾藍の皿　五十嵐貞子

華やぎの声おちこちに夏芝居　渋谷　くに

冬瓜や二つに切りて配りけり　青木　慶一

球児等の汗が弾ける甲子園　南　セツ

せきかわ川柳会作品「地図」「笑う」

我が国は児の手ひとつに隠される　渡辺しづい

躓いた自分を笑う一人言　南　セツ

かなかな蝉が時を知らせて飛んで行く　本間　イミ

大笑いストレス飛ばす健康法　平田　千恵

歩きたし歩行器頼りの細き足　佐藤　ノブ

訂正とおわび

先月号に掲載した自治功労者表彰の氏名で感謝状を授与された「鈴木芳江さん」は「鈴木芳枝さん」の誤りでした。また、戸籍の窓に掲載した川鍋幸弘さんの集落は「鮎谷」ではなく、「金俣」の誤りでした。おわびして訂正します。

No. 593／9月号
平成22年9月1日発行

戸籍の窓

●7月16日～8月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

蒼空（そら）ちゃん（男）　大島
髙橋正之・さやかさん

元樹（げんき）ちゃん（男）　下関
米野正樹・律子さん

美帆（みほ）ちゃん（女）　湯沢
五十嵐義和・之子さん

すえながくお幸せに

近（石井）　聡志さん　若山
　　恵さん（村上市）

佐藤（川内）　史昭さん　上野
　　直子さん（村上市）

堀（菅原）　慎太朗さん　湯沢
　　梢さん（村上市）

渡邊（伊藤）　一幸さん　南赤谷
　　志乃さん（新潟市東区）

ごめい福をお祈りいたします

平田　榮作	さん	85歳	下関
成田　準次	さん	85歳	上関
菅　キヨ	さん	91歳	内須川
横山　森夫	さん	80歳	久保
近　正次	さん	83歳	荒川台
瀬賀　昭次	さん	70歳	下関
渡邉　又三	さん	80歳	上関
板越　ツネ	さん	80歳	幾地
伊藤ハツミ	さん	88歳	聞出
髙橋　ミイ	さん	102歳	金俣

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

平成22年7月末現在　（　）は前月対比

世帯数	2,055世帯（－1）
総人口	6,712人（－10）
男	3,201人（－6）
女	3,511人（－4）
転入 14人	転出 18人
出生 2人	死亡 8人

編集室から

▶暑い日が続きますね。皆さん、体調はいかがですか。体調管理には十分注意してくださいね。暑さ対策ではないんですけど、先日、子どもと一緒に川遊びをしてきました。やっぱり川遊びは最高です。鰍とりも最高です。80匹くらいとれました。（そんなに多くはないですけど…）

昔はよく川遊びしたんですけど、最近はあまり見かけませんね。来年また子どもを連れていきたいと思います。　（あ）

野山の草 78

秋の七草

今年の夏は全国的な猛暑で、日本が亜熱帯気候になったのかと錯覚するほどですが、本来は春の七草、秋の七草などに代表されるように四季折々の草花が楽しめる温暖な気候です。春の七草は七草粥のように“食”を楽しむ健康志向ですが、秋の七草は純粋に花を“見る”ことを楽しむ要素が強くなっています。秋の七草は万葉集で山上憶良（やまのうえのおくら）が詠んだ日本の代表的な秋草の、萩(はぎ)、薄(すすき)、桔梗(ききょう)、女郎花(おみなえし)、藤袴(ふじばかま)、葛(くず)、撫子(なでしこ)で、いずれもじっくり観賞できる味わいある花ばかりです。日本古来種であり栽培は容易なので、あらためて栽培方法は紹介しなくとも丈夫な花ばかりです。また、あまり派手さはなく一部品種を除いて園芸品種化は進んでいないので、万葉の時代から変わらぬ名花が楽しめます。中秋の名月を秋の七草とともに観賞するのが、風流な日本人のこころだったのでしょうね。

写真は「桔梗」です。

◆六聖園（富樫幸子・上関）

わが家の人気者

飛竜（ひりゅう）ちゃん（5歳）
江梨茄（えりな）ちゃん（3歳）
安部輝彦さん　玉樹さん（下関）

下関保育園に入園し一年がたちました。毎日元気一杯に友だちと遊び、帰って来てからも友だちと遊んでいます。じいちゃん、ばあちゃんにも可愛がってもらい、伸び伸びと育っている子どもたちです。

これからも兄妹仲良く思いやりを忘れず活発に育っていってもらいたいです。

発行／関川村
編集／総務課

〒959-3292　新潟県岩船郡関川村大字下関912番地
Tel　0254-64-1476　Fax　0254-64-0079
ホームページ　http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/
メール　somu@vill.sekikawa.niigata.jp